



菊川市議会議員長
松本 正幸

市民の皆様には、輝かしい令和5年の新春を迎えられたこと、心からお慶び申し上げます。

本市議会に対しましても、日頃からお寄せいただいておりますご支援とご協力に対し、議員一同、深く感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、国際的な紛争や世界各地での気候変動による自然災害が発生し、市内においても台風15号による被害などがあり、心が痛む年でもありました。

一方で、サッカーワールドカップでの日本代表チームの活躍は、多くの人々に大きな感動や夢とともに、困難に立ち向かう勇気と日本の人々が心を一つにする機会を与えてくださいました。

市議会では、議会基本条例の基本理念に基づいて議会機能の充実に向けた改革を推進してきました。「議会改革度ランキング調査」では、菊川市議会のランキングは、年々上昇傾向にありましたが、2021年には全国で50位、県下で1位となりました。これもひとえに、全議員で「議会改革」を念頭に置き、改革を進めてきた成果であると感じております。

今後も、さらに市民参加を推進し、開かれた議会を目指し、誰もが住んでみたいと思う、個性と活力あるまちの実現に向けて取り組んでまいりたいと思います。

結びに、市民の皆様にとりまして、本年が大きく飛躍する年となり、明るい1年となりますよう、心よりご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

令和五年 新年のご挨拶



菊川市長
長谷川 寛彦

令和5年の新春を迎え、市民の皆様にご挨拶として新年のお慶びを申し上げます。

昨年を振り返りますと、コロナの影響が続きながらも、3年ぶりに産業祭や敬老会が開催されるなど、少しずつ地域の活動などが再開し始めた1年でありました。

また、市民の力で自主的に企画したバイイベントに全国から多くの皆様が参加し、大きな話題となりました。加えて市内に経済効果をもたらすなど、市民の元気・活力が注目を集めた1年でもありました。

本年は、ポストコロナを見据え、地域の活力をさらに高め、明るく安心な未来への歩みを進めていく年にしたいと考えております。市の強みである、市民や多様な団体との協働による、まちの活力や賑わいの創出を推進するとともに、高まる地方移住への関心や大河ドラマ「どうする家康」の放送を機に、地域資源を活かした交流人口・関係人口の拡大に取り組んでまいります。

また、市民の皆様ご自身の安全安心な暮らしのため、市南部地域の浸水対策や、市役所敷地一帯の防災体制の強靱化に取り組んでまいります。

豊かな自然や交通利便性に恵まれたこのまちのポテンシャルを最大限に生かし、「さらに前へ!住みたいまち菊川市!!」の実現に全力を尽くしてまいります。引き続きSNSやdボタンを活用した情報発信も積極的に行いますので、ぜひ、ご覧ください。

結びに、皆様にとりましてこの1年が実り多き年でありますよう心からお祈り申し上げます、年頭のご挨拶といたします。